千葉県山武町、白浜町
～外食産業グループによる農業生産システムの確立～

	山武町	白浜町
地　域　指　定	ー	過疎、半島
農業地域類型	平地農業地域	中間農業地域
経営耕地面積	986ha	95ha
耕作放棄地面積	農家ha127　土地持ち非農家294ha　420計ha	農家ha26　土地持ち非農家36ha　計62ha

※数値は2005年農林業ｾﾝｻｽ概数値

【地域の概要】
○　山武町は、すいかを基幹に、にんじん、米、さといも等を生産し、首都圏への生鮮農産物安定基地として消費地の動向に対応した有機農業を推進している。
○　白浜町は房総半島の最南端に位置し、温暖な気候を利用した露地花、野菜などの栽培が盛んで観光農業を推進している。

【構造改革特区に取り組んだ経緯】
○　山武町で主に生産活動を行っているＪＡ山武郡市睦岡支所園芸部有機部会は、外食グループ企業との栽培契約により、有機野菜を栽培している。
○　高齢化・担い手不足の中で国際・産地間競争に負けない産地体質の強化が急務。
○　外食グループ企業にとっても、安全・安心な野菜の安定供給との競争優位が課題。

（構造改革特区の取組状況）
・特区の名称：有機農業推進特区（平成15年11月認定、16年12月変更・白浜町追加）
・特区の範囲：山武町、白浜町
・特 定 事 業：農業生産法人以外の法人による農業経営参入
・実 施 主 体：株式会社
・実 施 概 要：野菜作付け745ａ

特区を通じた耕作放棄地解消への取組

耕作放棄地解消面積：４．６ヘクタール

○　外食グループ企業が農業参入を図るため、子会社を設立し、山武町にある農事組合法人の経営に参画。特区認定により、この法人の農地を借受。
○　高齢化比率が県下一位の白浜町でも、参入法人を活用し、遊休農地の解消と有機野菜のブランド化により地域を活性化。

山武農場

白浜農場